



## 秋、自らを奮い立たせよう



前期期末考査が終了しました。結果は、個人によると思いますが、良かったところは伸ばし、悪かったところは反省して、**前へ進むことが大切です。**

**3年生**は、総合型や学校推薦型の受験、そして共通テストの準備と、大学受験に向けて動きが具体化してきています。この流れに上手に乗り、自分を見失わず、前へ進んで下さい。事務的な作業では、**期限を守る**ことが第一。ここから、本校生は大きく伸びます。全国が相手であることを再確認し、**計画的な学習を心がけて前へ進んでください。**

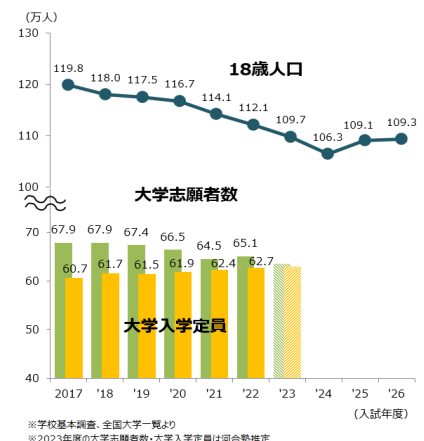
**1、2年生**は、**後期中間考査**へ向け、更に**11月の進研模試**を一つの目標として、**学習に力を注ぎましょう。**進研模試では、例年の傾向を見ると、春からよりも成績が下降する生徒が少なくありません。この理由の一つは、**日常の学習が、そしてその学習姿勢が定着していない**ためだと考えられます。

スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋などと言われますが、どのように過ごしても、秋は、**過ごしやすく貴重な時間**だということでしょう。

いずれにせよ、**学校の生活を楽しみながら、将来へ向けて、自らの心を奮い立たせる気持ちを持って行動に移すとき**です。その力が、学力の一つなのだと思います。

## 2023年大学入試の分析結果より

河合塾 kei-net の大学入試情報を参考として、今春の大学入試の分析と、2024年度の方向性をまとめました。いずれも、**全国的な傾向**です。



### ①受験人口の減少傾向の継続

受験人口（大学受験者総数）は、2017年の119万8千人から、2024年の106万3千人と、約13万人減少することになりました。これは、**国公立大の入学定員（13万人弱）と同様**となり、10年に満たない**短期間で競争緩和**が進んでいることが伺えます。一方で、学部・学科の新設により、大学の**収容枠は広がっています**。国公立大の倍率は年々下がっており、地方ではすでに**2倍台前半**となっているところもあります。私立大でも、**首都圏、近畿圏を除き、倍率が1倍台前半の地区**もあります。

### ②大学入学共通テストの総合平均点は反転

3年目を迎えた大学入学共通テスト（以降、共通テスト）は、前年大きく落ち込んだ**数学の平均点**が大幅にアップしたため、**総合平均点はアップ**しました。しかし、昨年大きく下がったものが反転しただけで、**共通テスト以前の総合平均点に比べ、依然として低くなっています。**

### ③都市部の大学志向が戻る

新型コロナウイルスが流行しはじめて4回目の入試となり、その収束が見えてきたことから、一部では**地元志向が緩み、都市部の大学志向が戻り、地方から首都圏・近畿圏の私立大学を目指す受験生の割合が高まりました。**

### ④文では、経済・経営・商、理では理、農、医、薬人気

文系は、従来から女子の比率が高い「文・人文」「社会・国際」系統で志願者が減少し、**国際系の分野では、コロナ以降、人気の回復が見られません。**一方、「経済・経営・商」系統では、志願者はやや増加しました。

理系では、工学系で志願者が減少したものの、**理、農学系で志願者が増加**しました。医、歯、薬などの**難関資格系の分野も、昨年**に引き続き受験生の人気を集めました。

学際系の情報分野では、志願者は増加していますが、学部・学科新設にともなう定員増によるところが多く、一概に人気とは言えない状況です。

模試での希望状況を見ても、**緩やかな文低理高・難関資格系の人気**が継続しています。

#### ⑤データサイエンス系の学部の新設、理系学部設置に注意

国策の成長分野の再編促進という観点から、国公立大では宇都宮大、千葉大などのデータサイエンス系の学部の新設、私立大では明治学院大などの理系学部設置といった動きが見られます。

また、理工農学系分野の女性活躍推進策として、国立大を中心に、女子が少ない学部・学科に学校推薦型選抜などで女子枠を設ける動きがあります。2024年度は東京工業大のほか、山梨大（工）、東京理科大などで女子枠を設けます。

この他、文理横断教育推進では、筑波大（社会・国際－国際総合）などが文系・理系どちらからも受験可能な入試科目へ見直します。また、富山大（経済、理）などでは、募集を大きくくり化して、専門分野への進学を入学時ではなく、2年次以降に行います。

いずれにせよ、**今後の入試動向を注視する**必要があります。



## 相手を思いやる心

第105回全国高校野球選手権大会は、慶應義塾高校の107年ぶりの優勝で幕を閉じました。

宮城県代表の仙台育英高校の連覇はなりませんでしたが、同じ東北地区の代表として、また、本県代表の聖光学院高校や、福島県大会での本校の活躍を見て、**勇気や爽やかさ**を得た生徒も少なくないと思います。

その中のある試合で、相手チームの選手が足をつり、それに、その**対戦チームの選手が駆け寄り、介抱する姿が印象**に残りました。その他の種目でも、自チームの介抱が難しい場合に、近くの相手チームが手助けをするシーンは、最近、よく目にするような気がします。

それがボトルの場合、差し出したボトルの中身の問題もあり、好ましくないという意見も少数は目にしますが、大勢は、勝利は勿論大切にしますが、それ以上に、**スポーツマンシップ、同じ競技で闘う相手への敬意を重んじる結果**だと感じます。

このような姿勢へ関心を持ち、部活動、あるいは、それ以外の学校生活においても、**周囲への敬意を忘れず**に生活して欲しいと思います。

## 今後の進路関係行事の予定

今後の進路関係の行事予定は、以下の通りです。PTA 役員の希望の保護者の参加も予想されます。1、2年生の進路意識の高揚が期待されます。

- |           |       |  |
|-----------|-------|--|
| 9/22 (金)  | 5・6校時 | <b>先輩講話 (2学年対象)</b><br>卒業生7名(卒業後3年目の大学生)による講話              |
| 9/29 (金)  | 5・6校時 | <b>進路講演会 (2学年対象)</b><br>河合塾講師による学習の仕方や大学入試についての内容の講義       |
| 10/13 (金) | 5・6校時 | <b>進路講演会 (1学年対象)</b><br>ベネッセ担当者による学習の仕方や大学入試についての内容の講義     |
| 10/27 (金) | 5・6校時 | <b>大学講義×SDGs (2学年対象)</b><br>県内外の大学講師(教授・準教授)による、分野別講義(8講座) |
| 11/10 (金) | 5・6校時 | <b>職業観育成講義×SDGs (1学年対象)</b><br>様々な職種の職業人による講義(9会場)         |
| 3/18 (月)  | 6・7校時 | <b>合格者体験発表会 (1・2学年対象)</b> (変更の可能性あり)<br>現3年生の大学合格者による体験発表会 |

**目標達成!**